

呉市手をつなぐ育成会

～7月号～

令和4年7月1日発行
呉市手をつなぐ育成会
会長 中川 潤二

育成会だより



〒737-0051
呉市中央5丁目12-21
呉市福祉会館 3階
Tel (0823)24-2260
Fax (0823)24-2568
E-mail kure-teotunagu@herb.ocn.ne.jp
<http://kure-teotunagu.org/>

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



呉市立阿賀中学校 ハートⅠ・ハートⅡ学級作品

もくじ

7月の予定

- 表紙 呉市立阿賀中学校
- P.2 「たのしみは…」 中川会長
「目の前に迫っていること」家族会会長 中岡里美
- P.3 連載/本人支援者・うたう会指導者 岩木 達
- P.4 ぼくの学級！わたしの学級！呉市立広小学校
- P.5 特集！「運動会」
山村 あゆみ 合田 亜友美 松岡 絵美
- P.6 本人活動報告 サポートファイル学習会報告
お礼 お知らせ 英字新聞探しています 編集後記

- 7月8日(金)
サロン「みんなの話」
10:00 (福祉会館3階会議室)
- 7月17日(日)
本人部会会議 10:30(呉つばき会館)
うたう会 13:30(呉つばき会館)
- 7月23日(土)いくせい太鼓
14:00(呉つばき会館)
- ★コロナ感染状況により変更になる
場合もあります。ご確認ください
- ★次回発行予定は8月1日です



「たのしみは…」

会長 中川 潤二

こんにちは、会長の中川です。みなさんは「たのしみは…」と考えることはありますか？

私は毎日一日を振り返って、今日の「たのしみは…」と考える時間を持つようにしています。

きっかけは、次の歌です。

「たのしみは 朝おきいでて 昨日まで 無かりし花の 咲ける見るとき」

江戸時代の終りころの橋曙覧(あけみ)の「独楽吟」の中の一首です。

日常の暮らしの中でふと楽しいと思うことを素直に歌にしています。小学校の教科書にも採用されているそうです。

毎年、現在の「独楽吟」の募集もされています。

この歌に出会って橋曙覧のことをもっと知りたくて、福井にある「橋覧記念文学館」に行きました。かつて住んでいた小さな住居が再現され、「独楽吟」52首も掲げられていました。

時の藩主松平春巖(しゅんがく)に請われたのに城には上がらず、周りの人たちに支えられながら慎ましく生きた人でした。

こんな歌もあります。

「たのしみは まれに魚烹(に)て 兎等皆が うましうましといひて食ふ時」

家族団らんの様子が目に浮かびます。

その旅以来、私も何気ない毎日の中で、あれは楽しかった。くすつと笑えたと思うことを見つけてるようにして日記(大げさなものではなく備忘録のように二五〇字くらい)に書き留めています。

今三千首近くになりました。しんどい時、苦しい時も暮らしの中には何か元気がでるようなことがきつとあります。周りの人や自然が自分を癒してくれていることに気が付くこともあります。

育成会のみなさんと、しっかりと関わりを持たせていただきながら「たのしみは…」をみつつけていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

少し前の私の「独楽吟」です。「たのしみは カーブとサンフレとも勝ち大きな記事の 朝刊読むとき」

「目の前に迫っていること」

家族会会長 中岡里美

の生活に慣らしていこうと考えていました。それでも、私が世話出来るギリギリまで、このまま一緒に生活した方が摩弥は幸せなのではないか。と思い私の中でも揺れていました。施設やグループホーム入所に際して、「障害のあるわが子に、親がやっていたような細かい世話をしてもらえない」と想像するだけで、子供が可哀想に思えてしまい、踏ん切りが付きません。子ども自身にやらせてみる。そして他の人に任せる勇気を私にもたなくてはなりませんね！摩弥にも一緒に暮らすメンバーとの相性が有るし、私にも思いが有るので、どこに決めるか色々悩んでいるところです。何度かやり直し出来るためにも、呉市内に気軽にその子に合った所を体験入所出来るように、多様なグループホームが増えて欲しいと思っています!!

私は今年の12月で63歳になります。ダウン症の次女摩弥は9月で34歳。私が若かった頃に何となくボヤーと想像していた30年後が現在です。子どもが小さい時は、毎日を過ごすので一生懸命。自分と連れ合いの未来に、病気や歳をとるのは、遙か先なのだと思っていました。それが、6年前夫が難病で亡くなり、翌年私自身に病気が見つかり、入院・手術となり、その後も何度も入退院することになりました。有難いことに、その都度、事業所のサポートを受けて乗り切ることが出来ました。自分が病気をしたことで、元気にしていただけるのにも限りがあると身に沁みています。以前から、親亡き後の摩弥の世話を長女に全て任せるのではなく、長女には自分の家族を一番に考えてもらいたいと思っていました。私が元気なうちから摩弥をグループホーム

新連載 スタート 1

現在、本人部会支援者・うたう会指導者の岩木達氏は小学校の元校長先生。当時の障害児教育から障害者支援へ…障害者週間行事だった「ふれあいコンサート」発足のお話。現在の本人活動に寄り添う思いを綴っていただきます。



私は、一九八六年（昭和61年）から3年間、呉市教育委員会にて障害児教育を担当しました。その時のつながりから「ふれあいコンサート」に出会い、「育成会県大会」に出会い、「うたう会」に出会い、「本人部会」に出会いました。

ふれあいコンサートは、一九九五年（平成7年）に第1回を開催し、二〇一九年（平成31年）の第25回まで四半世紀にわたって活動しました。私は発足時からかかわっていて、記録や記憶を手繰りながら当時を振り返ってみていきたいと思います。

呉市内の小学校では、水曜日の午後には研修や記録会などの合同行事などに充てていました。その活動の一つに国語などの教科部会と道徳などの教科外部会があつて、全教員がいずれかに所属し、合同で研修していました。

私は、音楽部会員と障害児教育部会でした。その年の6月の障害児教育部会で、ある小規模作業所の方の実践をお聞きしました。つばき会館にある身障者利用者センターの開設10周年記念式典で、作業所の仲間が舞台いっぱいに歌ったのです。障害を持った仲

間が笑顔で生き生きと歌ったその様子を熱っぽく話されました。

8月の部会研修は施設訪問でした。現在の新広駅の敷地内にあった広生活実習所をお願いすることにし、依頼に訪れました。あまり広くない部屋で作業をしておられたのは保護者の方でした。在宅の重い障害の人は、養護学校スタートで活動の場が出来たものの、卒業後は再び在宅を余儀なくされました。そこで数人の保護者が寄り集まって作った生活の場が、この作業所だとのことでした。重度の障害を持つ人とその家族の方が、温かく寄り添っておられました。2週間後の施設訪問では、広公民館でオリエンテーションをし、分散して訪問しました。

こうした折、8月の末に「ふれあいコンサート」が計画され、その実行委員に誘われました。ひっそりと存在している内10か所の小規模作業所と、そこに集う人たちのことを広く市民に知ってもおうと育成会の親の会が模索していた時、身障者利用者センター10周年式典での発表に接したのです。そして、音楽で触れ合うふれあいコンサートが動き始めました。

作業所の保護者はTシャツやバンダ

ナの作成と広告集めを、バンドのHATSは演奏曲のCDを作り、国立病院リハビリ学院の学生はCDを手作業所へ曲の練習に出かけました。各作業所で練習した成果で、10月のボランティア祭のステージに3曲歌い、11月の国立リハ学園祭にも参加して歌いました。

12月9日、呉市の「障害者の日」記念講演会の後に引き続きふれあいコンサートが始まりました。5日前にも二河小で練習し、前日にリハールをして臨みましたが、本当に市民会館ホールでステージに立てるだろうかと実行委員会では心配していました。しかし、お揃いの白いTシャツと赤いバンダナでしっかり表現出来ました。「ラ・ラ・ラ」などのオリジナル曲を客席で歌い、「小規模作業所って何？」で各作業所の仲間を紹介をし、最後は仲間全員がステージに上がり「きつとくる明日へ」を高らかに歌いました。動きだした流れに飲み込まれていたものの、終わって初めて自分達に自信を持ちました。ふれあいコンサートへの取り組みは、次への大きなうねりを生みました。…次回へ。

本人部会支援者・うたう会指導者

岩木達



ほくの学級！
わたしの学級！



広小学校 ひまわり学級



広小学校ひまわり学級は、4クラス19名でスタートしました。毎日、楽しく勉強や遊び、運動に取り組んでいます。仲のよい仲間たちが、力を合わせて、これからもがんばります。

運動タイム



週1回、ひまわり学級全員でいろいろな運動をします。

大豆を植えたよ



草ぬきや水やりをがんばっています。大豆が大きくなるのが楽しみです。早く大きくなあれ！

乗り物を作ったよ



消防自動車や新幹線などいろいろな乗り物を作りました。乗って、遊んで大満足でした。





『頑張った運動会!』

山村 あゆみ

先日、息子の海斗が中学生になって初めての運動会がありました。

コロナ禍のため午前中だけの開催でした。競走やリレーでは最後まで気を抜かず、一生懸命走りきることができました。

大縄とびでは周りのみんなと息を合わせてたくさんとぶことができていました。

短い練習期間で頑張って練習していたんだなあと驚きました。

海斗は広汎性発達障害と診断されていて成長がゆっくりなことと、生まれつき体の関節が柔らかい為、体の動きにぎこちなさがあり運動が得意ではありません。それでも、勝ち負けよりも自分のベストを尽くすことを目標に、諦めずに頑張る姿を見ることができ、成長を感じうれしく思いました。

これからも色々なことに挑戦して海斗のペースで成長し続けていってほしいです。

『小1! はじめての運動会☆』

合田 亜友美

うちの末っ子・優, 入学式からひと月半。初の運動会が行われました。何をやるにも「初」。

「初」に弱い優にとっては不安の毎日です。練習が始まったある日、先生から「50m走、走り切れませんでした」と聞きました。今までと違う運動会。優の挑戦の始まりです。

先生方にはたくさん工夫をして頂きました。周りのお友だちも気にかけてくれ、練習を渋る優に声をかけてくれました。

本番。種目は50m走とボール運び。50m, 走り切ることができました! 母のカメラは高速連写。負けても「もうヤダ!」とゴール前でUターンしませんでした。表情も晴れやかです。お友だちと一緒に運ぶボールも落とすことなくゴール!

大きな期待はせず、そこにいるだけで花丸。でも「もしかしたら」という淡い期待。

今回は大きな花丸がつかえました! これからも待っているいろんな「はじめて」。一緒に乗り越えていこうね。



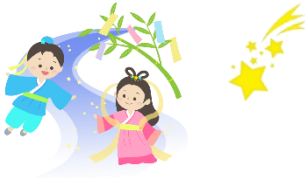
『3兄弟の運動会』

松岡 絵美

長男は中2です。小さい頃は本番になると泣いてばかりで参加できずにいましたが、今は一生懸命取り組み、楽しみ、また周りのみんなの事も大きな声で応援し、本当に生き生きとしています。そんな姿を見ていると、1つ1つの経験は確実に息子の力になり、自信へと繋がっていると感じました。

次男と三男は小6です。小学校生活最後の運動会。まだまだ小さいと思っていた息子達ですが、家で見るとは違う顔でした。次男は友達とアイコンタクトをし息を合わせ、真剣な表情で体操をし、終了後は達成感溢れる笑顔が見られました。三男は大きな旗をもち立派に入場行進、ダンスでは周りの様子を見ながら、一生懸命表現していました。

3人それぞれが、素敵な姿を見せてくれ、私は息子たちの姿から元気をもらいました。息子たちはこれからも様々な姿を見せてくれそうです。



ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告

6月19日に本人部会がありました。最初にスマイル大会の内容について城本会長から説明がありました。次に、『一人で生活するために』については、一緒に生活しているお母さんに頼れなくなった時のためです。

お金のこと、健康のことなどたくさんありますが、今回は食べることについて主に話しました。

いつか調理をして、野菜を食べることにしました。最後に、七夕の短冊に願い事を書きました。病気で入院している仲間を応援しました。

たはら ひでとし
田原 秀登志



☆ありがとうございました☆

【順不同・敬称略】(6月20日現在)

ご寄付いただいた皆さま

安芸南組仏教婦人会連盟 尾橋 良子 匿名

サポート会員の皆さま

北村 健二 濱田 純典 奥川 正次郎 榎 周作
佐原 順子 日山 瑞恵 辻 和民 脇田 典康
渡辺 徹子 岡本 浩幸 東内 桂子 渡辺 達士
岡本 茂宏 岩木 富美子 岩木 達 井本 健一
神崎 文子 田中 秀樹 中本 克州 山根 直行
高橋 伸治 村越 博 小田 操 植田 圭
田村建設(株) (医)緑風会ほうゆう病院 unica
正和実業(株) NPO 法人仁和 大幸産業(株)
西方寺こども園 根石電機工業(株)

～サポートファイル学習会報告～

6月13日(月)、サポートファイル学習会を実施しました。参加者は3名でしたが、未就学の方が就学のお悩みをお持ちでした。これから教育相談を受けるお母さんの思いを、整理しながらお聞きしました。また、お二人はお話しながら「親心の記録」の書き込みをされました。

育成会では「個別の記入会」も実施しております。ご遠慮なくご連絡ください。

編集後記

このところ「80・50問題」「90・60問題」と親御さんの高齢化に伴い、ご本人の生活スタイルが否応なしに変化せざるを得ない状況に、戸惑いを隠せません。
住み慣れたところで生活したいだけに、思いがあります。
障害のある本人の生活は、本人に意思で決められないのでしょうか。
コロナ前の様に、研修会に参加して学びたくありません。
育成会もこちゃんまりとした研修会を計画しましょうか。

探しています！



- 英字新聞を探しています。
ラッピングやエコバックの材料に使用
- 中学生の学生ズボンはありませんか。
支援学級生徒さんの洗い替えに使用します。
黒・ウエスト66cm位

ご協力よろしくお願いします。☎24-2260 育成会